

平成25年3月8日(金) 愛媛新聞

仕事選びの幅広げて

県空調衛生設備業協会 新居浜工高で講座

県空調衛生設備業協会(佐藤守成会長、44歳)の出席授業が6日、新居浜市北新町の



屋内消火栓の使い方を体験する生徒

機械設備関係への就職が多い県内の工業高校で、進路決定の一助にしてみらおうと2010年度から実施。市内の会員企業3社が仕事内容をスライドで紹介した。

水道工事店の代表者

は「市内の上水道は1954年に創設され、今の計画給水人口は約12万人。水源地から送られた水は消毒後、ポンプで配水池へ送り利用者へ給水している」と説明した。

屋内消火栓の説明で

は、生徒2人がホースを伸ばし使い方を実演した。中林大貴君(16)は「毎日飲む水がきれいになっていてすごいと思った。進路選択の幅が広がった」と話した。(河野茜)